

CONTENTS

- ・循環器内科の役割
- ・在宅介護支援事業所
みどり
- ・コンシェルジュ日記

情報発信 ステーション

(財)日本医療機能評価機構認定病院
(社)日本病院会 人間ドック・
健診施設機能評価認定病院

特定医療法人 緑社会

金田病院

〒719-3193 岡山県真庭市西原63
TEL (0867)52-1191 FAX52-1917
http://www.kaneda-hp.com

循環器内科の役割

内科医長 徳永 尚登

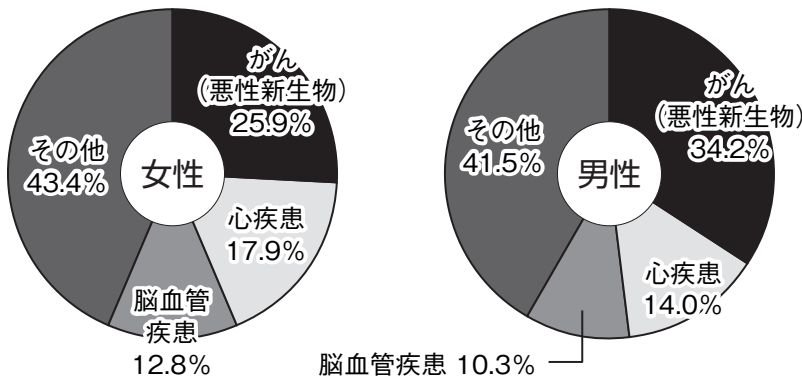


循環器内科とは、血液の循環に係る臓器（心臓・大動脈）に起きる病気を扱う内科のことをいいます。狭心症、心筋梗塞、弁膜症、心筋症、不整脈などの心臓病のほかに、高血圧、大動脈の病気などがあげられます。

図表に示されるように、心疾患は現在日本人の病気の中で重要な位置を占めてきています。がん以外の2位と3位の心疾患・脳血管疾患で大きなウェイトを占めるのが虚血性疾患で、痛んだ血管や血栓等から起こる病気ですこれを予防する観点から最近注目されているのがメタボリックシンドロームです。

メタボリックシンドロームは肥満、とくに内臓脂肪の過剰な蓄積（内臓脂肪型肥満）を基にして、境界型糖尿病・脂質代謝異常・高血圧・脂肪肝などの病気がひとりの人に重なり合って起こるもので、その疾患の1つとして虚血性疾患があげられます。

2007年の死亡の三大原因



厚生労働省「平成19年 人口動態統計」より

健康診断で受ける心電図は、虚血性疾患を発見するためのスクリーニング検査です。当院では不整脈や心筋症などが疑われる場合は、その背後にある病気を調べるために心エコー検査などの二次検査を行います。心エコー検査は超音波を用いて体表面から心臓や血管の形、血液の流れをチェックする検査です。心臓の大きさ、動き、心臓の筋肉や弁の状態、血液の流れなどをチェックし、正常に働いているかどうかを判断します。心エコー検査は心臓病の診断だけでなく治療方法の選択、治療効果の判定、手術時期の決定にも役立ちます。昨今、循環器分野は検査・治療とも目覚ましい進歩を遂げており、狭心症や心筋梗塞などの虚血性疾患ではCT・MRIでも評価ができるようになりました。

循環器の疾患は自覚症状が乏しく、いったん症状がでると生命に関わることも少なくないのですが、最近の傾向としては早期に発見すれば、比較的問題なく治療が行える時代となってきました。当院では受診された方のどんな小さな予兆も見逃さない丁寧な検査と診療で、より早期発見・早期治療をこれからも心がけてまいりたいと考えます。

居宅介護支援事業所みどり

居宅介護支援事業所って？

都道府県から指定を受けた介護支援専門員（ケアマネージャー）を配置している事業所です。住みなれた我が家で安心感のある生活を送っていただけるように、私たちは在宅介護のお手伝いを致します。

どんなことをするの？

●要介護認定申請の手続き代行
介護保険による各種サービスを利用するためには、要介護の認定を受ける必要があります。ご本人やご家族の方が介護保険申請を行うこともできますが、居宅介護支援事業所みどりも申請手続きの代行をさせていただきます。

●居宅介護サービス計画

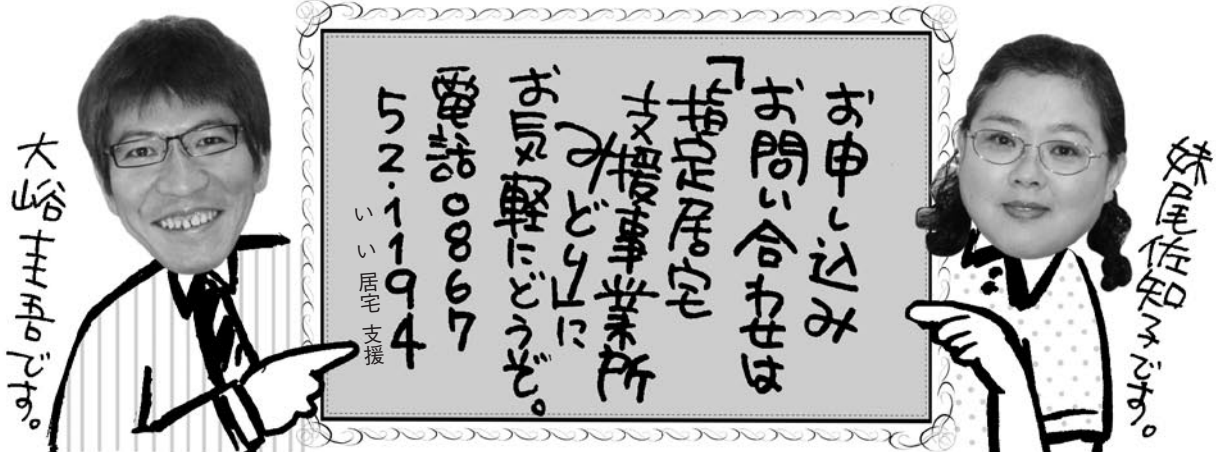
（ケアプラン）の作成

ご本人やご家族の状況やご希望を

伺い、訪問看護、訪問介護、通所介護などのサービスが適切に利用できるように、介護サービス計画の作成（ケアプラン）を行います。また、介護がスムーズに行われるようにサービス事業者との連絡調整や紹介などを行います。サービスの開始後は定期的にご利用状況を確認し、必要に応じてケアプランの修正を行い、常に適切なサービスが利用できるようにお手伝い致します。

●介護に関する相談

当事業所は病院に併設しています。そのため、退院後のご自宅での生活や介護のご相談にも、主治医や看護師・医療相談員等と連携を円滑に図り、入院中から在宅生活へ向けてのスムーズな支援が出来るように努めています。また、介護保険サービス以外の介護のご相談にも応じます。お気軽におたずねください。



特定医療法人緑社会 理念



金田病院 理念

- 一、金田病院は、二次医療圏・日常医療圏の中で、地域の医療機関との緊密な連携のもとに、地域の中核病院として、人々にわかりやすい医療提供体制を構築します。
- 二、金田病院の医療提供体制は、「急性期医療」を基幹とし、「医療療養病床」を運営し、地域医療に貢献します。

基本方針

- 一、金田病院は、地域の人々に、良質な医療・介護を提供します。
- 二、金田病院は、地域の人々と、ゆるぎない信頼関係を築いていきます。
- 三、「個人情報保護法」を厳守するとともにプライバシーを尊重します。
- 四、根拠に基づいた公平な医療を提供します。
- 五、診療は、医師の説明と、患者の皆様の選択に基づいて行います。



コンシェルジュ日記

事務部 フロアマネージャー

コンシェルジュ
細田 麻衣子

ご高齢のAさんは、月に一度ご家族の方と一緒に来院されています。

「あんとと話ができるのが楽しんじゃわあ。」と、いつも手を握ってお話をしてくださいます。受診後、会計を待たれているAさんに声をかけると、ご家族の方がこのようなお話をしてくださいました。「今日はどうしても嬉しいことがあったんですよ。おばあちゃん（Aさん）の病気は生野菜を控えると

いう食事制限があるんです。おばあちゃん

は週に2〜3回デ

イサービスに通って

いるんですけど、他

の人の食事と比べ

て自分の食事には

トマトがついていないのが寂しい

と言っていました。でもそれは仕

方のないことだと、おばあちゃん

も私たちがわかっています。でも、

おばあちゃんはわかっているながら

そのことを今日は先生に話したん

です。

『先生、トマトは赤いけえ目につ

くんじゃ。欲しいとは思っても私

のお皿にはないし、施設の方も食

事制限のことを知っておられるか

ら私にはトマトをくださらんの

です。』とおばあちゃんが言う

と、先生はこう言われました。

『Aさんは今、血液検査の数値も

良いし、デイサービスの食事です

るトマトくらいならみんなと同じ

ように食べてもいいですよ。』その

上先生は、『私が責任を持つから大丈夫。』と言って、その場でメモ用

紙に一筆書いて『施設の方に渡し

てね。』と、その紙をおばあちゃん

にくれたんです。紹介状や診断書

ではなく、先生のやさしい思いが

詰まったその一枚のメモ用紙が本

当に嬉しかったです。感動しまし

た！』とご家族の方はお話しくだ

さいました。診察室内でのちよっ

とした出来事は、笑顔で話される

Aさんとご家族の思いとともに私

の心にも届きました。

「私のお皿にもトマトがつくな

あ。トマトが美味しい時期じゃけえ

嬉しいわあ。」と、Aさんもとて

楽しみにされ、そしてご家族の方

は「先生のご好意に感謝し、食べ

すぎないよう注意しながらコン

ロールしていきます。」と話されて

いました。

今までご家庭でも施設でも控

えておられたトマトの味、Aさんは

すっかり噛みしめられること

でしょう。次回お会いするときには

広がるトマトの会話、今からとても楽しみにしています。

お知らせ

副院長 川西正泰医師は、平成21年8月31日をもちまして退職することになりました。

18年の間、皆様方のあたたかいご支援を頂きましたことに心より御礼申し上げます。

なお、都合により外来診療は7月31日までとさせていただきます。ご迷惑をお掛けいたしますが、よろしくお願い申し上げます。

編集後記

金田病院のホームページでは、診療実績もご覧いただけます。「情報発信ステーション」と同様、ホームページもよろしくお願いいたします。

地域医療連携室長 田中 聖隆
社会福祉社 有本 紀子
経営企画室主任 長田 寛子
電算室主任

